

2027 年度

学 生 募 集 要 項

(学校推薦型選抜 I)

[大学入学共通テストを課さない選抜]

人 文 社 会 学 部	人文社会科学科	人文科学コース 国際社会コース 社会科学コース
教 育 学 部	学校教育教員養成課程	教育科学コース・教科教育コース・ 特別支援教育コース 保健体育教育コース
理 工 学 部	数学物理学科 情報科学科 生物科学科 化学生命理工学科 地球環境防災学科	
医 学 部	看護学科	
農 林 海 洋 学 部	農林資源科学科	フィールド科学コース 農芸化学コース
地 域 協 働 学 部	地域協働学科	

地域協働学部では改組を予定しており、パブリックイノベーション学科(仮称)を新設予定です。
詳細は9月上旬以降に本学受験生サイトにて公表予定の学生募集要項よりご確認ください。



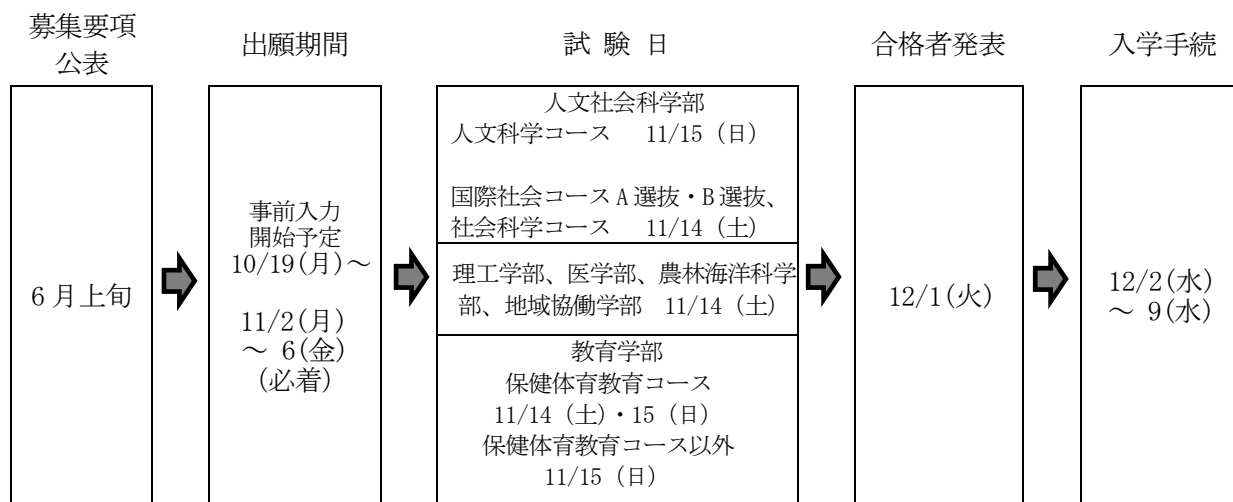
高知大学
Kochi University

出願方法はインターネット出願です。

出願手続は「インターネットによる入力」、「入学検定料の支払い」、
「必要書類の郵送」を行っていただきます。

目 次

◎ 「アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)」及び「入学者選抜方法と評価する能力」	1
1 実施する学部(学科・課程等)、募集人員及び出願資格等	6
2 個別の入学資格審査	
(1) 審査の方法等	10
(2) 申請期間及び問合せ先	10
3 出願手続	
(1) 出願方法	10
(2) 出願期間	11
(3) 入学検定料	11
(4) 出願に関する留意事項	11
(5) 郵送が必要な書類等	12
(6) 受験票の印刷	12
4 障害等のある者の出願	13
5 選抜方法等	
(1) 選抜方法	15
(2) 試験実施期日・時間及び試験場	19
(3) 実技の内容等	20
6 受験上の注意事項	
(1) 試験場への集合等	20
(2) 携行品	20
(3) 受験票	20
(4) 遅刻者	20
(5) その他	20
7 合格者発表と選抜結果の通知	21
8 入学手続	
(1) 入学手続期間	21
(2) 入学手続書類の送付先	21
(3) 入学手続書類	21
(4) 入学手続時等に要する経費	21
(5) 注意事項	22
9 入学前指導(事前学習会)の予告	22
10 不合格者の国公立大学への出願	23
11 入学試験に関する情報の開示	23
12 個人情報の取扱い	24
試験場案内	25
入試情報	裏表紙



◎「アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)」及び「入学者選抜方法と評価する能力」

高知大学のアドミッション・ポリシーは、学部・学科(コース)ごとに、「養成する人物像」、「求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準」及び「入学者選抜方法と評価する能力」を示しています。

なお、「入学者選抜方法と評価する能力」では、選抜ごとの「選抜方法と評価する能力の対応表」を示します。表にある◎、○は、当該能力の重要度又はそれを評価する比重・目安を示しています(◎は必須・最重要項目、○は必要・重点項目)。なお、◎、○は配点の内訳とは直接関係はありません。

また、「主体性・多様性・協働性」は、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を示します。

なお、養成する人物像で記載されている「○○学」の具体的な内容については、各学部のホームページ等を参照してください。

人文社会科学部

■人文社会科学科

人文科学コース

【養成する人物像】

人文科学コースは、「哲学・心理学・歴史学・考古学・地理学・文学・言語学等について学び、グローバルな視点とローカルな視点の双方から、過去や現在の地域文化の特性や、人間そのものに対する考え方について、批判的な精神をもって理解し、主体的に考え、社会・文化の維持・発展に貢献できる人間」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 高等学校等で諸科目を幅広く履修し、基礎的な素養を身につけている。
2. 主として言語による、正確で論理的な表現技術を身につけている。

思考力・判断力・表現力

1. 物事を論理的にとらえ、判断し、言語での確に表現することができる。

主体性・多様性・協働性

1. 地域の文化や地域社会の課題、人類全体に共通の普遍的な問題について、主体的に考えることができる。

関心・意欲

1. 地域の文化や地域社会の課題、人類全体に共通の普遍的な問題について関心を持ち、取り組む意欲がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
英語	◎	○		
面接		○	◎	○

国際社会コース

【養成する人物像】

国際社会コースは、「多様な視点を持って異文化・自文化を理解し、グローバル化に対する批判的考察ができる人間、また言語・文化・社会に関する専門的知識と外国語の運用能力を生かして、グローバル社会の課題解決に貢献できる人間」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 多様な価値・異文化を理解するための基礎的な素養として、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識がある。
2. 十分な日本語力と高等学校卒業程度の外国語によるコミュニケーションの技能を有する。

思考力・判断力・表現力

1. 得られた知識を相互に関連づけて、グローバル化に対して批判的に思考し判断する能力を有する。
2. 目的や場面に応じて適切な言語とメディアを選択し、学習の成果などを発信する基礎的な力を有する。

主体性・多様性・協働性

1. 言語・文化・社会の多様性を理解しつつ、多様な人々と協働する能力を身につけている。
2. 世界の人々と積極的に関わり、地域社会に貢献する素養がある。

関心・意欲

1. 世界における多様な言語・文化・社会の問題に強い関心を持っている。
2. 世界の人々と積極的に関わり、地域社会に貢献する意欲がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

選抜区分	選抜方法	評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
A選抜	小論文	○	◎		
	面接		◎	○	◎
B選抜	面接	◎	◎	○	○

社会科学コース

【養成する人物像】

社会科学コースは、「経済学・経営学・会計学・法学・政治学等について複合的に学び、社会制度に関する幅広い教養と専門的能力を身につけ、社会的問題に実践的に取り組む人間」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 高等学校等で履修した科目について基礎的事項を理解している。

思考力・判断力・表現力

1. 社会に存在する諸問題の解決に、専門・学際両面から取り組むための論理的思考力と理性的判断力を有する。
2. 社会や自己を客観的にとらえることができ、自己の考えを他者に伝わるように表現することができる。

主体性・多様性・協働性

1. 社会科系の科目を積極的に学び、読書等を通じ、社会制度、社会問題に関する知識や理解力を高める習慣を獲得している。

関心・意欲

1. 経済・経営・会計・法律・政治等に関連する社会的なことがらについて、主体的に課題を発見し、多面的に課題を検討して、課題の解決に取り組む意思がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
口頭試問を含む面接	○	◎	○	○

教育学部

■学校教育教員養成課程

【養成する人物像】

教育学部は、「幅広い教養と教育(保育)とりわけ学校教育に関する総合的な理解を持ち、教育を深く探求して学校教育をめぐる諸課題の解決に向け適切な方策を考えることができ、確かな教育実践に必要な高い技能と豊かなコミュニケーション能力を身につけ、教育(保育)という営みや教師(保育士)という仕事に深い関心を持って主体的に探求し続けることができる人材」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 教育実践に必要な教養や教育(保育)に関する専門的な知識の修得に必要な幅広い分野の基礎知識として、高等学校卒業程度の各教科に関する知識・技能を有する。
2. これまで学んだ知識・技能を新たな学びにつなげることができる。

思考力・判断力・表現力

1. 論理的に思考する能力を有する。
2. 学習した内容を状況や課題に応じて応用する能力を有する。
3. 学習した内容や自分の意見を他者に対して適切に表現する能力を有する。

主体性・多様性・協働性

1. 主体的に課題を探求する態度を有する。
2. 課題について多様な考え方を有する態度を有する。
3. さまざまな人々と協働して課題を解決する態度を有する。

関心・意欲

1. 教育(保育)と教師(保育士)の仕事について強い関心を有する。
2. 教職への強い意欲を有する。
3. 高知県の教師(保育士)を目指す強い意志を有する(学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱ「高知県枠」)

【入学者選抜方法と評価する能力】

教育科学・教科教育※・特別支援教育コース

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
講義理解力試験	◎	◎		
問題解決型グループワーク	○	◎	◎	○
振り返り作文	○	◎		

※教科教育コースは募集枠の名称であり、2年次から「国語教育・社会科教育・数学教育・理科教育・英語教育・技術教育・家庭科教育・音楽教育・美術教育・保健体育教育の各コース」のいずれかに分属されます。

保健体育教育コース

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
講義理解力試験	◎	◎		
問題解決型グループワーク	○	◎	◎	○
振り返り作文	○	◎		
実技、実技実績調べ	◎	◎		

理工学部

■数学物理学科

【養成する人物像】

数学物理学科は、「数学や物理学の専門的知識の修得を通じて理学の発展・活用に寄与し、またグローバル化する社会の中で自ら課題を発見し解決する能力を身に付けることで社会に貢献できる人材」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 高等学校卒業程度の教科学習に関する知識を有する。特に、専門的知識を習得するために必要な事項として、数学あるいは理科についての内容を十分に理解している。

思考力・判断力・表現力

1. 筋道を立てて物事をとらえることができる。
2. 知識・技能を活用して自ら課題を見出し、その解決に向けた探求心が旺盛である。
3. 自分が理解している事柄をわかりやすく説明することができる。

主体性・多様性・協働性

1. 問題に対し、自ら考えて解法を導くことができる。
2. 課題解決に向け、多様な人々と協力する意志を持っている。

関心・意欲

1. 数や図形、自然の現象等に関連する数学的な事柄に関心があり、理解を深めたり課題を解決したりする意欲がある。あるいは、自然の現象や法則に関心があり、実験等を通じて理解を深めたり課題を解決したりする意欲がある。
2. 基礎理学として数学又は物理学を学ぶ意欲がある。
3. 数学又は物理学を核として学びつつ、他の分野にも知見を広める意欲がある。
4. 科学と社会のあり方、科学と倫理のあり方について関心がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
プレゼンテーション(数学)を含む面接	○	◎	○	◎

■情報科学科

【養成する人物像】

情報科学科では、情報科学、情報工学の「計算システム科学」「ソフトウェア科学」「数理情報学」分野に関する知識及び情報処理能力を涵養し、その学習を通して論理的思考力を身に付け、さらには高度情報化社会で活躍できる人材を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 理工学を学ぶにあたって必要となる数学・理科・英語の基礎的事項に関して、高等学校卒業程度の知識があり理解している。
2. 情報科学の専門知識を修得するために必要となる幅広い分野の基礎知識として、高等学校卒業程度の教科学習に関する事項の知識と理解及び技能を有する。

思考力・判断力・表現力

1. 知識・技能を活用して自ら課題を見出し、その解決に向けた探求心が旺盛である。
2. 物事の考え方や判断基準を科学的・論理的にとらえることが得意である。
3. 自分が理解している事柄をわかりやすく説明することができる。

主体性・多様性・協働性

1. 主体的に学習に取り組む習慣が身についている。
2. さまざまな考え方をもち人とコミュニケーションを取り、良好な協働ができる。

関心・意欲

1. コンピュータや情報通信技術、アルゴリズムやプログラミング等に関心がある。
2. 情報科学の広範な学問分野を学び、高度情報化社会で活躍する意欲がある。
3. 情報科学を核として学びつつ、数学や物理学にも知見を広める意欲がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
口頭試問を含む面接	○	◎	◎	◎

■生物科学科

【養成する人物像】

生物科学科は、「地球生態系から分子レベルの現象を扱う生物科学(分類学、生態学、古生物学、比較生化学、細胞生物学、生理学、分子進化学の諸分野)についての専門的な知識と野外調査・室内実験の技術を修得し、生物及び生物圏の在り方をさまざまな視点から理解し、生物多様性の保全や自然環境教育などを通じて広く社会に貢献できる人材」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 理学を修得するために必要となる数学・理科・英語の基礎的事項に関して、高等学校卒業程度の知識を有する。
2. 生物科学の専門知識を修得するために必要となる幅広い分野の基礎知識として、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識があり理解している。

思考力・判断力・表現力

1. 知識・技能を活用して自ら課題を見出し、その解決に向けた探求心が旺盛である。
2. 物事の考え方や判断基準を科学的・論理的にとらえることが得意である。
3. 自分が理解している事柄をわかりやすく説明することができる。
4. 事実を客観的にとらえ、合理的な思考により判断できる。

主体性・多様性・協働性

1. 科学に関する活動等で自然に親しみ、多様な人々と社会の課題解決に取り組むことができる。
2. 実験や演習等に積極的に取り組むことができる。

関心・意欲

1. 生物科学のさまざまな分野に興味・関心がある。
2. 自然法則や科学者・科学技術者の守るべき倫理、あるいは応用的な科学を学ぶことに興味・関心がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
口頭試問を含む面接	◎	◎	○	○

■化学生命理工学科

【養成する人物像】

化学生命理工学科では、化学反応の仕組み、物質の性質や機能、細胞でおこる生命現象の仕組みを分子や原子レベルで理解するための基礎的な知識と技術を身につけます。それらを土台として、化学と生命科学分野の基礎科学研究及び環境、エネルギー、材料科学、ナノテクノロジー、バイオテクノロジー等に関連する応用研究に取り組むことで、社会で生じるさまざまな問題の解決へとつながる革新的な発見や発展に貢献できる研究者・技術者を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 理工学を学ぶために必要となる幅広い分野の基礎知識として、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識を有する。
2. 化学や生命科学の専門知識を修得するために必要となる理科・数学・英語の基礎的事項に関して、高等学校卒業程度の知識・技能を身につけ、理解している。

思考力・判断力・表現力

1. 知識・技能を活用して自ら問題点を見出し、原因の探求、解決に向けた課題設定ができる。
2. 自然現象や身近な現象を科学的に考えることができる。
3. 物事を筋道立てて考えたり、明確な基準や理由をもって判断したりすることが得意である。
4. 自分が理解している事柄を他者にわかりやすく説明することができる。

主体性・多様性・協働性

1. 自己の向上及び自身に関わるさまざまな活動の活性化のために、自ら学び、行動できる。
2. 持続可能な社会を実現するためのさまざまな課題に目を向け、化学や生命科学の領域から主体的に課題に取り組むことができる。
3. 多様な人々と協働して、学んだり、さまざまな課題に取り組んだりすることができる。

関心・意欲

1. 科学が好きで、特に化学反応や生命現象に強い関心がある。
2. 化学や生命科学の分野で、新たな法則や原理を発見したり、新たな技術、材料等を開発したりする意欲がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
口頭試問を含む面接	◎	◎	○	○

■地球環境防災学科

【養成する人物像】

地球環境防災学科では、地球を作っている物質の特性、自然現象や災害が起こる仕組み、災害から命や暮らしを守る方法について教育・研究を行い、自然共生型社会の構築・発展に貢献できる人材を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 理工学を学ぶにあたって必要となる数学・理科・英語の基礎的事項に関して、高等学校卒業程度の知識を有する。
2. 地球の成り立ち、自然現象の発生機構、防災の専門知識を修得するために必要な基礎的事項を理解している。
3. 実験や実習等に積極的に取り組むための知識や技能を有する。

思考力・判断力・表現力

1. 知識・技能を活用して自ら課題を見出し、その解決に向けた探求心が旺盛である。
2. 物事の考え方や判断基準を科学的・論理的にとらえることが得意である。
3. 自分が理解している事柄をわかりやすく説明することができる。

主体性・多様性・協働性

1. 自然法則や科学者・技術者の守るべき倫理、あるいは応用的な科学を主体的に学ぶことができる。
2. 科学に関する活動等で自然に親しみ、多様な人々と社会の課題解決に取り組むことができる。

関心・意欲

1. 自然との共生や国土の望ましい姿を模索・創造するための広い視野と柔軟な思考力を身に付ける意欲がある。

【入学者選抜方法及び評価する能力】

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
口頭試問を含む面接	◎	◎	○	○

■医学部

■看護学科

【養成する人物像】

看護学科は、「教養と専門知識を基盤に、人々のところに寄り添う感性と高い社会正義感を持って、看護実践能力を用いて、人々の健康と生活を支えることができる看護専門職」を養成します。同時に、「社会に生じてくるさまざまな問題を看護の視点でとらえ、多職種と協働しながら課題の解決に向かうよう自ら学びつづけ、よりよい医療・看護を実現できる革新力を備えた人材」の養成を目指します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 看護学・医学を学ぶために必要な高等学校卒業程度の知識があり、特に理科・社会・英語の基礎学力を有する。

思考力・判断力・表現力

1. 筋道を立てて物事を考え、的確な判断ができる。
2. 自分の考えや思いをわかりやすく伝えることができる。

主体性・多様性・協働性

1. 他の人と協働しながら、主体的に取り組むことができる。
2. 自ら学び、挑戦することができる。
3. 相手の立場に敬意を払い、関心を持って他の人の話を聞くことができる。

関心・意欲

1. 人と触れ合うことが好きであり、人々の健康と生活を支える専門職を目指す意欲がある。

【入学者選抜方法及び評価する能力】

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
総合問題	◎	○		
面接		◎	◎	◎

■農林海洋科学部

■農林資源科学科

【養成する人物像】

農林資源の有効活用による持続的社会的創造を志し、俯瞰的に問題を分析し、データに基づく論理的考察により問題の本質を把握し、実際に行動し解決できる能力を有するとともに、農林業に関わるフィールド科学または農芸化学に関する専門的な知識、並びに農林業に関わるデータサイエンスや DX の知識を併せもった持続的資源開発・利用、環境保全等の諸課題や6次産業化に対応できる実践力のある専門人材を育成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 農学分野の専門知識と技能修得や一次産業の DX に資するデータサイエンスに関する専門的な知識を修得するために必要となる、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識・技能を有する。

思考力・判断力・表現力

1. 物事を客観的にとらえることができる。
2. 得られた知識及びデータに基づいて科学的・論理的思考ができる。
3. 言語や数式を使って、自らの思考を適切に表現することができる。

主体性・多様性・協働性

1. さまざまな人と意見交換ができる。
2. 主体的に学ぶことができる。
3. チームの一員として積極的に活動することができる。

関心・意欲

1. 専門分野の修得について強い関心と意欲を持っている。
2. DX やスマート化、先端的生物生産・利用、生産基盤の環境保全の様々な問題について高い関心を持ち、地域の課題を率先的に学び、解決に導く意欲がある。
3. データサイエンスに関する専門的な知識を修得し、地域社会及び国際社会に役立つ研究・開発を行う意欲がある。

フィールド科学コース

【養成する人物像】

フィールド科学コースは、「農林業や環境保全を対象としたフィールド科学に関連する専門的知識、技術及び研究能力を有し、地域の課題を積極的に解決できる人材」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 専門的知識の修得に必要な、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識・技能を有する。

思考力・判断力・表現力

1. 物事を客観的にとらえることができる。
2. 得られた知識及びデータに基づいて科学的・合理的思考ができる。

- 正しい日本語、英語や数式を使って、自らの思考を適切に表現することができる。

主体性・多様性・協働性

- さまざまな人と意見交換ができる。
- 主体的に学ぶことができる。
- チームの一員として積極的に活動することができる。

関心・意欲

- 常識ある社会人として社会に貢献する熱意がある。
- 地域の課題を率先的に学び、解決に導く意欲がある。
- 専門分野の修得について強い関心と意欲を持っている。

【入学者選抜方法と評価する能力】

選抜区分	選抜方法	評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
一般推薦 A選抜	口頭試問を含む面接	○	◎	○	◎
一般推薦 B選抜 (地域志向枠)	小論文	◎	◎	○	○
	口頭試問を含む面接	○	◎	○	◎
専門推薦	口頭試問を含む面接	○	◎	○	◎

農芸化学コース

【養成する人物像】

農芸化学コースは、「化学的視点から生物生産を幅広く探求でき、その成果を地域社会への貢献に結びつけられる人材」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

- 農芸化学分野、DXに関連する専門的知識を修得するために必要となる幅広い分野の基礎知識として、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識があり理解している。

思考力・判断力・表現力

- 生命現象や食料生産の場を取り巻く生態系を化学的に観察し考察できる。
- 言語や数式を使って、自らの思考を適切に表現する基礎が身につけている。
- 物事を客観的にとらえることができる。
- 得られた知識やデータに基づいて科学的・論理的に判断することができる。

主体性・多様性・協働性

- 主体的かつ真摯に学ぶことができる。
- さまざまな分野に興味を持つ多様な人々と、理科、特に化学や生物に関する意見交換ができる。
- チームの一員として主体的・積極的に活動することができる。
- 豊かな感性、高い倫理観、協調性を備えている。

関心・意欲

- 生命現象を遺伝子やタンパク質、生理的な機能を持つ化合物など、目に見えない分子レベルで解明し、我々の生活に役立つ技術開発を行う意欲がある。
- 食料生産の場を取り巻く生態系に興味を持ち、土壌・動物・植物・微生物が果たす役割について理解し、生活環境の改善に役立てる意欲がある。
- 健康増進作用など食品が持つ多様な機能について学ぶ意欲がある。
- 生命現象、生物が生産する物質、食と健康、多様な生態系などを化学の視点から理解し、それらを利用して地域社会

に役立つ研究・開発を行う意欲がある。

- データサイエンスに関する専門的な知識を修得し、地域社会及び国際社会に役立つ研究・開発を行う意欲がある。
- 理科、特に化学や生物に関連する学問や研究に強い関心を持っている。

【入学者選抜方法と評価する能力】

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
口頭試問を含む面接	○	○	○	◎

地域協働学部

■地域協働学科

【養成する人物像】

地域協働学部は、地域理解力・企画立案力・協働実践力の3つの能力を統合した「地域協働マネジメント力」を有し、多様で複雑な地域の課題を発見しその解決のための取り組みを行う中で、立場や利害を越えて人や組織などの協働を創出・促進することができる「地域協働人材」を育成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

- 地域協働に関連する専門的知識を修得するために必要となる、理系・文系を問わない幅広い分野の基礎知識として、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識・技能を有している。

思考力・判断力・表現力

- 物事を論理的に思考する能力を有している。
- 物事を客観的に分析し判断する能力を有している。
- 自分の意見を口頭と文章の両面で他者に適切に伝えることができる表現能力を有している。

主体性・多様性・協働性

- 主体的に課題の探求や解決にあたる態度を有している。
- 課題について多様な考え方を受け入れる態度を有している。
- 考え方や価値観の異なるさまざまな人と協働し課題の解決にのぞむ態度を有している。

関心・意欲

- 地域社会に存在する諸課題とその実践的解決に関心を持っている。
- 地域課題解決や地域振興に向けた協働的活動に粘り強く取り組む意欲を持っている。
- 地域での協働的取り組みの中で自分が成長することに意欲を持っている。

【入学者選抜方法と評価する能力】

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
グループ活動及び振り返り演習適性試験	○	◎	◎	◎
作文	○	◎	◎	◎
面接	○	◎	◎	◎

1 実施する学部(学科・課程等)、募集人員及び出願資格等

入学定員の一部について、大学入学共通テストを課さない「学校推薦型選抜Ⅰ」を実施します。

国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合又は課さない場合を含めて）への出願は、一つの大学・学部に限ります。

ただし、本学の大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜Ⅰに不合格となった者は、同一学部・学科・コース等を志望する場合に限り、本学の大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜Ⅱに出願することができます。

【共通の注意事項】

- ・出願資格欄の高等学校には、中等教育学校、高等専門学校（3年次）及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の出身者を含みます。
- ・推薦人員に制限がある場合は、分校は本校とは別に1校として扱います。
- ・募集人員に欠員が生じた場合は、本選抜以降実施される入学者選抜試験で欠員分を補充します。

実施学部(学科・課程等)		募集人員	出 願 資 格	備考		
人文社会科学部	人文社会科学科	人文科学コース	20人	高等学校 を2027年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者	(注1)	
		国際社会コース	A選抜	23人	高等学校 を2027年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者	(注4)
			B選抜	12人	高等学校 を2027年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の「各学科に共通する教科・科目の外国語」の学習成績の状況が4.3以上の者 ただし、調査書の「主として専門学科において開設される各教科としての英語」も履修している場合は、前記の学習成績の状況4.3以上に加えて当該英語科目の学習成績の状況が4.0以上の者 調査書の「主として専門学科において開設される各教科としての英語」のみを履修している場合は、当該英語科目の学習成績が4.0以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者	(注4)
		社会科学コース	20人	高等学校 を2027年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者	(注1)	

実施学部(学科・課程等)		募集人員	出 願 資 格	備考
教育 学部	学校教育教員養成課程	教育科学コース・ 教科教育コース (注5)・ 特別支援教育 コース	一般枠 7人 (注7)	(注2)
			高知県枠 7人 (注7)	
	保健体育教育 コース (注6)		一般枠 4人 (注7)	(注2)
			高知県枠 2人 (注7)	
理 工 学 部	数学物理学科	10人 (注4)	高等学校 を2027年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者	
	情報科学科	8人 (注1)		
	生物科学科	10人 (注4)		
	化学生命理工学科	13人 (注4)		
	地球環境防災学科	8人 (注4)		

実施学部(学科・課程等)		募集人員	出 願 資 格	備考
医 学 部	看護学科	10 人	<p>高等学校を2027年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者</p> <p>(1) 学習成績・人物が優秀でかつ健康であり、調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者</p> <p>(2) 看護学に関する勉学意欲が特に強く、将来はその専門分野における実務・指導に携わることを決意している者</p> <p>(3) 学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(4) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p>	(注4)
農 林 海 洋 科 学 部	農 林 資 源 科 学 科 フィールド科学 コース	一般推薦 A 選抜 7 人 B 選抜 (地域志向枠) 5 人 (注11)	<p>高等学校を卒業(修了)した者又は2027年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者</p> <p>(1) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者</p> <p>(2) 学校長が責任をもって推薦できる者、既に高等学校を卒業(修了)した者においては、出身高等学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(3) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p>	(注4)
		専門推薦 3 人 (注8)	<p>高等学校の農業、工業、水産に関する学科及び総合学科を卒業(修了)した者又は2027年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者</p> <p>(1) 調査書の全体の学習成績の状況が4.3以上の者</p> <p>(2) 学校長が責任をもって推薦できる者、既に高等学校を卒業(修了)した者においては、出身高等学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(3) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>※総合学科については、農業、工業又は水産に関する教科・科目を計25単位以上修得(見込みを含む)した者</p>	(注4)
		専門推薦 (高知県枠) 5 人 (注8) (注10)	<p>高知県内の高等学校の農業、工業、水産に関する学科及び総合学科を卒業(修了)した者又は2027年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者</p> <p>もしくは、高知県在住であって県外の高等学校の農業、工業、水産に関する学科及び総合学科を卒業(修了)した者又は2026年3月に卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者</p> <p>(1) 調査書の全体の学習成績の状況が4.3以上の者</p> <p>(2) 学校長が責任をもって推薦できる者、既に高等学校を卒業(修了)した者においては、出身高等学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(3) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>※総合学科については、農業、工業又は水産に関する教科・科目を計25単位以上修得(見込みを含む)した者</p>	(注4)

実施学部(学科・課程等)			募集人員	出 願 資 格	備考
農林海洋科学部	農林資源科学科	農芸化学コース	高知県枠 5人 (注9) (注10)	高知県の高等学校 を卒業(修了)した者又は2027年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者、既に高等学校を卒業(修了)した者においては、出身高等学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者	(注4)
地域協働学部	地域協働学科		5人	高等学校 を2027年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者	(注3)

- (注1)** 学校長が推薦できる人員は、1校につき2人以内とします。
- (注2)** 学校長が推薦できる人員は、教育学部全体で1校につき2人以内とします。
- (注3)** 学校長が推薦できる人員は、1校につき1人とします。
- (注4)** 学校長が推薦できる人員に制限はありません。
- (注5)** 教科教育コースは募集枠の名称であり、2年次から「国語教育・社会科教育・数学教育・理科教育・英語教育・技術教育・家庭科教育・音楽教育・美術教育・保健体育教育の各コース」のいずれかに分属されます。
- (注6)** 保健体育教育コースの学校推薦型選抜Ⅰにおいて不合格となった者は、教育科学コース・教科教育コース・特別支援教育コースの学校推薦型選抜Ⅱに出願することはできません。
- (注7)** 高知県以外の高等学校の卒業(修了)見込みの出願者は「一般枠」とします。高知県の高等学校の卒業(修了)見込み者は、出願時に「一般枠」又は「高知県枠」のいずれかを選択してもらいます。(高知県内の住所から、他県の高等学校に隣接通学している者を含みます。)
- (注8)** フィールド科学コースでは、高知県以外の高等学校の卒業(修了)者又は卒業(修了)見込みの出願者は「専門推薦」とします。高知県の高等学校の卒業(修了)者又は卒業(修了)見込み者は、出願時に「専門推薦」又は「専門推薦(高知県枠)」のいずれかを選択してもらいます。(高知県枠については高知県内の住所から他県の高等学校に隣接通学している者及び高等学校在学中隣接通学していた者を含みます。)
- (注9)** 農芸化学コースでは、「高知県枠」は高知県の高等学校の卒業(修了)者又は卒業(修了)見込み者を対象とします。
- (注10)** 「高知県枠」は入学後に本学部が開設する「次世代農業教育プログラム」の「次世代農業科学コース」を履修します。

次世代農業教育プログラム (Education Program for Smart Agriculture : EPSA)

本プログラムは、共通教育科目及び専門科目から選定した科目群の履修により社会的関心の非常に高いスマート農業の生産から加工流通までを学ぶ次世代農業科学コースと、さらにデータ駆動型農業の理解・実践に必要な知識を高度に学ぶ AI・プログラミング実践コースから構成されています。両コースともに、3年次には修了し、修了証が授与されることによりコース修了者として就職活動することができます。

カリキュラムでは、プログラムを段階的に履修できるように複数の科目群(プログラム入門・実習科目群、プログラム基盤科目群、4つの専門科目群、AI・プログラミング科目群)を配置しており、修得単位は全科目とも卒業要件単位に含まれます。

次世代農業科学コースでは基礎的知識の修得を目的として、1年次に入門・実習科目群(共通教育科目)とプログラム基盤科目群の「スマート農業Ⅰ」を履修します。2年次以降は、プログラム基盤科目群、スマート農業の理解に必要な専門科目群を順次履修し、総括として「IoP 総論」によりスマート農業の全体像を俯瞰的に理解します。

(注 11) 「B 選抜(地域志向枠)」出願者は、B 選抜のみの単願または A 選抜との併願が選択できます。選抜方法については、「5 選抜方法等」を確認してください。

「B 選抜(地域志向枠)」について

「地域志向枠」は入学後に、地域への理解、地域の課題とその解決に関する講義・演習科目である地方創生推進士(農学版)育成科目および指定の準正課活動を履修します。

指定単位を修得した者は、地域社会への理解を深め課題解決に取り組んだ証として、地方創生推進士の称号を取得することができます。「地域に対する理解と愛情を有する自律的で『協働』能力を持った人材」として大学が認定しますので、高知県内での就職(企業、公務員、NPO 等は問いません)のみならず、高知県外での活動においても、貴重なアピールポイントとして活かすことができます。

2 個別の入学資格審査

出願資格以外の教育施設で教育を受けた者が出願する場合は「個別の入学資格審査」を行いますので高知大学学務部入試課にお問合せください。

(1) 審査の方法等

申請者から提出される書類(本学所定の用紙等)により、高知大学入試企画実施機構会議において審査します。

(2) 申請期間及び問合せ先

2026年6月29日(月)から8月28日(金)(必着)まで

問合せ先: 〒780-8520 高知市曙町二丁目5番1号

高知大学学務部入試課 (TEL 088-844-8153)

3 出願手続

(1) 出願方法

インターネット出願のみとなります。

四国の国立5大学(徳島大学、鳴門教育大学、香川大学、愛媛大学、高知大学)が共同で開設するインターネット出願サイト(以下、「インターネット出願」という)を使用し、出願を受け付けます。

インターネット出願で必要事項を入力したうえで、入学検定料の支払い、調査書等の必要書類を郵送する必要があります。

郵便事情を十分考慮のうえ、調査書等の郵送が必要な書類が受付期間内に本学へ到着するように手続きをしてください。

☆『インターネット出願』の詳細については、高知大学HP内の「受験生サイト」に順次掲載します。(<https://nyusi.kochi-u.ac.jp/nyushi/net-apply>)

インターネット出願の操作方法・支払方法に関するお問合せは、四国国立5大学インターネット出願専用コールセンターをご利用ください。

●受付期間: 2026年10月19日(月)～11月6日(金)

●受付時間: 受付期間の午前9時から午後5時まで(土日祝除く)

●電話番号: 075-341-8620

(2) 出願期間 ※出願に必要な書類の受付は郵送のみです。(持参では受け付けません。)

出願情報の登録期間	2026年10月19日(月)～11月6日(金)13時まで
入学検定料の支払期間	2026年11月2日(月)～11月6日(金)13時まで
郵送が必要な書類の受付期間	2026年11月2日(月)～11月6日(金)17時まで(必着)
【注意！】 インターネット出願において、出願情報の登録及び入学検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりません。 郵便事情を十分考慮のうえ、郵送が必要な書類(下記(5)参照)が受付期間内に本学へ到着するように「特定記録・速達郵便」で郵送してください。(持参では受け付けません。)	

(3) 入学検定料 17,000円

クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy(Pay-easyが利用可能な金融機関ATM及びインターネットバンキング)を利用できます。

(注)納入した入学検定料は出願受付後においてはいかなる理由があっても返還しません。

大規模災害により被災し、入学検定料免除を希望される方は、必ず出願期間より前に学務部入試課(088-844-8153)まで連絡し、状況を伝えてください。その際に、手続方法をお伝えします。

◀ 入学検定料免除に関する詳細はこちら → <https://www.kochi-u.ac.jp/shinsai/> ▶

(4) 出願に関する留意事項

- ① 出願書類のうち一つでも不備のある場合には、受け付けません。
- ② 出願書類受付後の書類の返還及び記載事項の変更は認めません。ただし、連絡先の変更は速やかに本学まで申し出てください。
- ③ 出願書類のうち、日本語以外で作成されている場合は、日本語訳を添付してください。
- ④ 教育職員免許状の取得について

<教育学部の場合>

いわゆる「こども性暴力防止法」が2026年12月25日に施行されることに伴い、教育実習等を履修する際には特定性犯罪前科の有無の確認が求められることとなります。

特定性犯罪前科がある場合、教育実習等を履修することはできませんので、卒業要件を満たすことができず卒業することはできません。

<人文社会科学部・理工学部・医学部看護学科・農林海洋科学部の場合>

いわゆる「こども性暴力防止法」が2026年12月25日に施行されることに伴い、教育実習等を履修する際には特定性犯罪前科の有無の確認が求められることがあります。

特定性犯罪前科がある場合、教育実習等を履修することができず、教育職員免許状を取得できません。

(5) 郵送が必要な書類等

宛名票(入学検定料支払手続完了後に出願サイトからダウンロードできます。)を貼った角形 2 号封筒に以下の書類等を入れて送付してください。

書 類 等	摘 要
入学願書	入学検定料支払手続完了後に出願サイトからダウンロードできます。A4 サイズで印刷してください。印刷できない場合は、A4 の白紙にその旨記入し、入学願書の代わりとしてください。
推薦書	本学HPの受験生サイト>大学(学部)入試情報>学生募集要項等よりダウンロードし、A4 サイズで印刷後、 <u>出身学校長において作成し厳封</u> してください。印刷できない場合は、A4 の白紙に推薦書の内容をすべて <u>出身学校長において作成し厳封</u> してください。 《 https://nyusi.kochi-u.ac.jp/nyushi/admissions 》
志願理由書	本学HPの受験生サイト>大学(学部)入試情報>学生募集要項等よりダウンロードし、A4 サイズで印刷後、志願者が志願の理由を記述してください。印刷できない場合は、A4 の白紙に志願理由書の内容をすべて記入してください。 《 https://nyusi.kochi-u.ac.jp/nyushi/admissions 》
学修計画書 (人文科学コース、国際社会コースA 選抜のみ)	本学HPの受験生サイト>大学(学部)入試情報>学生募集要項等よりダウンロードし、A4 サイズで印刷後、志願者が学修の計画を記述してください。印刷できない場合は、A4 の白紙に学修計画書の内容をすべて記入してください。 《 https://nyusi.kochi-u.ac.jp/nyushi/admissions 》
実技実績調べ (保健体育教育コースのみ)	本学HPの受験生サイト>大学(学部)入試情報>学生募集要項等よりダウンロードし、A4 サイズで印刷後、 <u>出身学校において作成し厳封</u> してください。印刷できない場合は、A4 の白紙に実技実績調べの内容をすべて <u>出身学校において作成し厳封</u> してください。 《 https://nyusi.kochi-u.ac.jp/nyushi/admissions 》
調査書	文部科学省所定の様式により出身学校長が作成し、厳封してください。

(6) 受験票の印刷

インターネット出願サイトにログインして受験票をダウンロードし、A4 用紙に印刷してください。

ダウンロード期間などの詳細は、本学受験生サイト内の「2027 年度入試インターネット出願ガイド」に掲載します。

(<https://nyusi.kochi-u.ac.jp/nyushi/net-apply>)

4 障害等のある者の出願

障害等のある入学志願者で、受験上の配慮及び修学上の支援を必要とする場合は、出願に先立ち、以下の方法により本学と事前相談を行うことが可能です。なお、相談内容によっては、対応に時間を要する場合や対応できない場合もありますので、出願前のできるだけ早い時期に相談してください。

修学支援の方法や内容は、障害の種類や修学環境等によって異なりますが、少なくともどのような支援が必要になるかを把握しておくことで、入学後の対応をスムーズに進めることができます。本学では、障害学生の修学支援対応の準備時間はできるだけ多くあった方がよいとの観点から、出願前のできるだけ早い時期に、修学上の支援についてもご相談いただくことを推奨しています。

(1) 事前相談の時期

2026年10月2日（金）まで

- ※ 相談期間は、出願期間前になっています。出願を検討中の方は、必ずこの期日までに申請してください。
- ※ 試験日直前のケガ等で上記期限以降に受験上の配慮事由が生じた場合や、受験後に修学上の支援について相談したいなどの場合には期限以降でもご相談ください。

(2) 事前相談の方法

受験上の配慮・修学上の支援に関する事前相談の手順は、以下の①～⑤に従って進めてください。

- ※ 日常生活において、補聴器、松葉杖、車椅子等を使用している場合についても、試験における配慮の必要上、必ず事前相談してください。

① 電話もしくはメールによる相談

具体的に本学の受験を考える前の段階でも、受験上の配慮については「(3)の①又は②」の連絡先で、修学上の支援については「(3)の③」に記載のインクルージョン支援推進室で、随時電話・メール等による相談を受け付けています。

② 「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」等の必要書類について

障害等のある入学志願者で、受験上の配慮を必要とする場合や、入学後、修学上の支援を希望する場合は、①による相談のうえ、本学で対応可能な措置や申請にあたり、以下の書類を準備してください。

- ・本学所定の「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」
- ・医師の診断書（可能な限り発行後3か月以内のもの）
- ・身体障害者手帳の写し（取得者のみ）

上記必要書類一式を「(1) 事前相談の時期」までのできるだけ早い時期までに取り揃え、「(3)の①又は②」の連絡先まで提出してください。

- ※ 本学所定の様式は、高知大学受験生サイト (<https://nyusi.kochi-u.ac.jp/nyushi/hairyo>) より、ダウンロード及び印刷をしてご使用ください。（重複した障害や様式に明確にあてはまらない障害のある方は、障害等の状況を伝えやすい申請書様式を利用してください。）

診断書は、原則として原本をご提出ください。ただし、原本の提出が難しい場合はご相談ください。

提出書類一式は、ご自身にてコピーを取ることをお勧めします。

③ 「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」への文書による回答

「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」をご提出いただくことにより、本学での対応について具体的な検討を開始します。進路選択の参考になるよう、出願時までに配慮・支援の内容を検討し、入試課から文書によって回答を発送します。内容によっては、出願時までに回答できない場合や、必ずしも希望内容の全てに対応できない場合もありますので、ご了承ください。

④ 必要に応じて個別面談

必要に応じて、本学において志願者又はその立場を代弁できる出身学校関係者等と直接面談を行います。

⑤ その他

「相談の期限」((1) 事前相談の時期 参照) 以降に、受験上の配慮を要する理由が生じた場合は、期限以降でも「(3)の①又は②」の連絡先へご相談ください。また、受験後に修学上の支援について相談したいなどの場合には、「(3)の③」に記載のインクルージョン支援推進室までご相談ください。修学上の支援が必要かどうかの意思確認を行い、必要であればその内容を一緒に考えますので、できるだけ早く連絡することを推奨します。

(3) 連絡先

① 高知大学学務部入試課

〒780-8520 高知市曙町二丁目5番1号
TEL 088-844-8153 FAX 088-844-8147

② 医学部

高知大学医学部・病院事務部学生課入試室
〒783-8505 南国市岡豊町小蓮
TEL 088-880-2295 FAX 088-880-2296

③ インクルージョン支援推進室に関する情報ならびに本学の障害者支援について

高知大学学び創造センター 学生支援部門インクルージョン支援推進室

〒780-8520 高知市曙町二丁目5番1号

TEL 088-888-8037

E-mail shugakushien@kochi-u.ac.jp

URL: https://www.kochi-u.ac.jp/facilities/gakusei-shien/preuniversity_students/resources.html

(参考)

※ 受験上の配慮の例

- ・自家用車での入構駐車場の使用
- ・別室受験
- ・試験室をトイレ又は障害者用トイレの近くに設定
- ・座席を最前列、最後列、出入り口付近に設定
- ・介助者の試験室付近までの同伴、介助者控室の準備
- ・試験時間の延長
- ・車椅子、松葉杖の使用
- ・車椅子用机の準備
- ・補聴器の使用
- ・注意事項等の文書による伝達
- ・拡大鏡の使用
- ・問題冊子、解答用紙の拡大

※ 修学上の支援の例 (全ての支援を確約するものではありません)

(これまでに行った支援の例)

- ・欠席時の代替課題
- ・授業内支援 (ICレコーダー使用・指示内容視覚化・資料配付・途中退室許可)
- ・教室環境 (換気、教室変更)
- ・移動支援 (別移動手段)
- ・試験の別室受験・支援機器利用許可
- ・スケジュール管理サポート
- ・段差にスロープ設置
- ・教室に近い場所に送迎車の駐車スペース確保

(想定される支援の例)

- ・書類提出における介助者代筆許可
- ・聴覚障害等のある学生へのノートテイクなどの情報保障
- ・視覚障害のある学生への電子ファイルや点字・拡大資料提供
- ・リスニングが難しい学生についての他の形態の授業代替
- ・教育実習、病棟実習等の実習授業における実習施設の事前見学
- ・授業、講習、行事等での休憩の許可、休憩時間の延長許可

5 選抜方法等

学校推薦型選抜 I の選抜は、各学部・学科・コース等の選抜方法により判定を行います。

(1) 選抜方法

① 人文社会科学部 人文社会科学科

ア) 人文科学コース

入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さず、外国語(英語)(50点)、面接(200点)、調査書、推薦書、志願理由書及び学修計画書を総合して判定します。

面接は個人面接の方法で行い、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、論理構成力等の項目について複数の採点者が評価します。調査書、推薦書、志願理由書及び学修計画書は面接の資料とします。面接時間はおおよそ10分です。

イ) 国際社会コース

A 選抜

入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さず、小論文(100点)、面接(100点)、調査書、推薦書、志願理由書及び学修計画書を総合して判定します。

小論文は、課題文を提示し受験者の論述を求めるといった形式をとり、読解力、思考力、判断力、表現力を総合的に評価します。解答時間は60分です。面接は、複数の面接担当者による集団面接の方法で行い、志望動機、目的意識、関心・意欲、適性、知識、論理的思考力などを総合的に評価します。調査書、推薦書、志願理由書及び学修計画書は面接の資料とします。面接時間は1組がおおよそ25分です。

B 選抜

入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さず、面接(200点)、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。

面接は、英語による集団面接の方法で行い、英語によるコミュニケーション能力と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度、そして志望動機、目的意識、適性、論理的思考力などを総合的に評価します。調査書、推薦書及び志願理由書は面接の資料とします。面接時間は1組がおおよそ25分です。

ウ) 社会科学コース

入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さず、口頭試問を含む面接(200点)、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。

口頭試問を含む面接は、数人が1組となる集団面接の方法で行い、複数の採点者が総合的に評価します。口頭試問を含む面接の内容は、時事問題を出题し、社会問題に対する知識や関心、理解力を問います。また、志願理由書等の出願書類に関する質問、本コースの教育方針や内容、アドミッション・ポリシーとの適合性及び関心の度合いをはかる質問を行い、理解力、思考力、表現力、勉学意欲を総合的に評価します。志願理由書は口頭試問を含む面接の資料とします。面接時間は1組がおおよそ50分です。

② 教育学部学校教育教員養成課程

ア) (教育科学コース、(※)教科教育コース、特別支援教育コース)

(※)教科教育コースは募集枠の名称であり、2年次から「国語教育・社会科教育・数学教育・理科教育・英語教育・技術教育・家庭科教育・音楽教育・美術教育・保健体育教育の各コース」のいずれかに分属されます。

入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さず、講義理解力試験(100点)、問題解決型グループワーク(100点)、振り返り作文(100点)の総点(300点)と調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。

講義理解力試験では、教員による講義を聴いた上で、その講義内容を理解しまとめる力を評価するための作文を課します。

問題解決型グループワークでは、課題に沿ってグループ活動を行います。その後、グループワークに

についての振り返り作文を課します。

グループワークでは、受験者の活動の様子(発言、傾聴、行動等)について評価します。

振り返り作文では、グループワークを経た上での課題の理解度とそれをまとめる力を評価します。

調査書、推薦書及び志願理由書は、出願資格の確認にも用います。

イ) 保健体育教育コース

入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さず、講義理解力試験(100点)、問題解決型グループワーク(100点)、振り返り作文(100点)、実技・実技実績調べ(200点)の総点(500点)と、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。

講義理解力試験では、教員による講義を聴いた上で、その講義内容を理解しまとめる力を評価するための作文を課します。

問題解決型グループワークでは、課題に沿ってグループ活動を行います。その後、グループワークについての振り返り作文を課します。

グループワークでは、受験者の活動の様子(発言、傾聴、行動等)について評価します。

振り返り作文では、グループワークを経た上での課題の理解度とそれをまとめる力を評価します。

実技は、基礎的運動能力試験を実施します。実技実績調べは実技と併せて採点します。

調査書、推薦書及び志願理由書は、出願資格の確認にも用います。

③ 理工学部

ア) 数学物理学科

入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さず、プレゼンテーション(数学)を含む面接(200点)、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。

プレゼンテーション(数学)を含む面接は、個人面接の方法で行い、複数の採点者が志望動機、学習意欲、適性、数学の基礎知識などを総合的に評価します。なお、プレゼンテーション(数学)では、プレゼンテーションの内容に対する採点者からの質疑応答も含まれます。調査書、推薦書及び志願理由書は、プレゼンテーション(数学)を含む面接の資料とします。面接時間はおよそ20分です。

※注意事項

プレゼンテーション(数学)は「あなたが高校3年間に学校または自分で学んだ数学の中で、特に興味を持った、あるいは印象に残った分野、単元あるいは定理等」について行ってもらいます。その内容に興味を持った、あるいは印象に残った理由も必ず説明してください。

プレゼンテーションの内容を模造紙(四六判(788mm×1091mm)サイズ、1~2枚)に記載したものを試験当日持参し、それを使って、8分以内でプレゼンテーションを行ってください。(模造紙は縦位置で使用し、2枚の場合はそれらを横に並べて提示すること。説明の際、指示棒を持参し、使用してもらって構いません。)模造紙への記載は3~4メートルの距離から視認可能なものを作成してください。スペースを増やす使い方でなければ、別紙の貼り付けを認めます。

イ) 情報科学科

入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さず、口頭試問(情報)を含む面接(200点)、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。

口頭試問を含む面接は、個人面接の方法で行い、複数の採点者が志望動機、学習意欲、適性、情報の基礎知識などを総合的に評価します。調査書、推薦書及び志願理由書は、口頭試問を含む面接の資料とします。面接時間はおよそ20分です。

ウ) 生物科学科

入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さず、口頭試問(生物、地学から1つを選択)を含む面接(200点)、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。

口頭試問を含む面接は、個人面接の方法で行い、複数の採点者が志望動機、学習意欲、適性、理科の基礎知識などを総合的に評価します。調査書、推薦書及び志願理由書は、口頭試問を含む面接の資料とします。面接時間はおよそ20分です。

エ) 化学生命理工学科

入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さず、口頭試問(化学、生物から 1 つを選択)を含む面接(200 点)、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。

口頭試問を含む面接は、個人面接の方法で行い、複数の採点者が志望動機、学習意欲、適性、理科の基礎知識などを総合的に評価します。調査書、推薦書及び志願理由書は、口頭試問を含む面接の資料とします。面接時間はおよそ 20 分です。

オ) 地球環境防災学科

入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さず、口頭試問(物理、化学、地学から 1 つを選択)を含む面接(200 点)、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。

口頭試問を含む面接は、個人面接の方法で行い、複数の採点者が志望動機、学習意欲、適性、理科の基礎知識などを総合的に評価します。調査書、推薦書及び志願理由書は、口頭試問を含む面接の資料とします。面接時間はおよそ 20 分です。

④ 医学部

看護学科

入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さず、総合問題(100 点)、面接(25 点)、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。ただし、面接評価のみで不合格にすることがあります。

面接は、個人面接の方法で行い、態度、論理性、積極性等を評価します。調査書、推薦書及び志願理由書は面接の資料とします。また、総合判定に加味することがあります。面接時間はおよそ 15 分です。

⑤ 農林海洋科学部 農林資源科学科

ア) フィールド科学コース(一般推薦 A 選抜)

入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さず、口頭試問(物理、化学、生物から 1 つを選択)を含む面接(100 点)、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。

口頭試問を含む面接は、個人面接の方法で行い、志望動機、学習意欲、適性、知識について総合的に評価します。口頭試問では、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」で対応可能な**基礎知識**について質問します。面接時間はおよそ 20 分です。調査書、推薦書及び志願理由書は口頭試問を含む面接の資料とします。また、総合判定に加味することがあります。

フィールド科学コース(一般推薦 B 選抜(地域志向枠))

入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さず、小論文(100 点)、口頭試問(物理、化学、生物から 1 つを選択)を含む面接(100 点)、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。

小論文は、日本国内における中山間地域が抱える課題やその解決方法への関心について問います。

口頭試問を含む面接は、個人面接の方法で行い、志望動機、学習意欲、適性、知識について総合的に評価します。口頭試問では、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」で対応可能な**基礎知識**について質問します。面接時間はおよそ 20 分です。調査書、推薦書及び志願理由書は口頭試問を含む面接の資料とします。また、総合判定に加味することがあります。

B 選抜志願者(B 選抜単願及び A 選抜との併願)で合格者を決定します。

A 選抜との併願を選択した者は、B 選抜において不合格であった場合、小論文の点数を除いたうえで A 選抜において判定を行います。

フィールド科学コース(専門推薦(高知県枠を含む))

入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さず、口頭試問を含む面接(100 点)、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。

口頭試問を含む面接は、個人面接の方法で行い、志望動機、学習意欲、適性、知識について総合的に評価します。口頭試問では、本コースに関する専門分野の基礎知識について質問します。面接時間は

おおよそ 20 分です。調査書、推薦書及び志願理由書は口頭試問を含む面接の資料とします。また、総合判定に加味することがあります。

イ) 農芸化学コース

入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さず、口頭試問を含む面接(100 点)、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。

口頭試問を含む面接は、個人面接の方法で行い、志望動機、学習意欲、適性、知識について総合的に評価します。口頭試問では、本コースに関する専門分野の基礎知識について質問します。面接時間はおおよそ 20 分です。調査書、推薦書及び志願理由書は口頭試問を含む面接の資料とし、総合判定に加味します。

⑥ 地域協働学部

地域協働学科

入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さず、グループ活動及び振り返り演習適性試験※(200 点)、作文(100 点)、面接(100 点)、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。

面接は、個人面接の方法で行い、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」「関心・意欲」の 4 つの重点評価項目について、複数の採点者が評価します。調査書、志願理由書は面接の資料とします。面接時間はおおよそ 10 分です。

※「グループ活動及び振り返り演習適性試験」

この試験では、ごく簡単なグループ活動を行ってもらい、それに続けて、グループ活動の振り返り演習を実施します。振り返り演習では、議論もしくは行動の結果と、グループ活動のプロセスでのチームのあり方について考えてもらいます。採点は、チームとしての成果を向上させる資質という視点から、グループ活動とその後の振り返り演習の両方での受験者の「ふるまい」(発言、傾聴、行為等)について試験者が観察し、行います。

(2) 試験実施期日・時間及び試験場

学部	学科・課程等		月 日	集合時刻	試験時間	科目等	試験場		
人文社会科学部	人文社会科学科	人文科学コース		11月15日(日)	8:30	9:00～ 9:20	外国語 (英語)		
						10:30～ 18:00頃	面接		
	国際社会 コース	A選抜		11月14日(土)	8:30	9:00～ 10:00	小論文		
		B選抜				11:30～ 18:00頃	面接		
	社会科学コース		11月14日(土)	(注2)	9:00～ 18:00	面接	口頭試問を 含む面接		
教育学部	学校教育教員養成課程	教育科学コース・ 教科教育コース(注1)・ 特別支援教育コース 保健体育教育コース		11月15日(日)	8:30	9:00～ 11:10	講義理解力 試験		
				12:40～ 17:10		問題解決型グル ープワーク、 振り返り作文			
	保健体育教育コース		11月14日(土)	8:30	9:00～ 11:30	実 技			
理工学部	数学物理学科		11月14日(土)	(注2)	9:00～ 18:00頃	プレゼンテーシ ョン(数学) を含む面接	朝倉キャンパス 高知市曙町 2-5-1		
	情報科学科					口頭試問を 含む面接			
	生物科学科								
	化学生命理工学科								
	地球環境防災学科								
医学部	看護学科		11月14日(土)	8:30	9:00～ 11:00	総合問題	岡豊キャンパス 南国市岡豊町 小蓮		
					12:30～ 18:00頃	面接			
農林海洋科学部	農林資源科学科	フィールド 科学コース	11月14日(土)	12:30	13:00～ 17:00頃	一般推薦 A選抜	口頭試問を 含む面接	物部キャンパス 南国市物部乙 200	
						一般推薦 B選抜 (地域志向枠)			
						専門推薦			
						専門推薦 (高知県枠)			
	農芸化学 コース	高知県枠				9:00			9:30～ 11:00
地域協働学部	地域協働学科		11月14日(土)	8:30	8:50～ 10:10	グループ活動 及び振り返り 演習適性試験	朝倉キャンパス 高知市曙町 2-5-1		
						10:30		10:40～ 11:40	作 文
						12:40		13:00～ 19:00頃	面接

(注1) 教科教育コースは募集枠の名称であり、2年次から「国語教育・社会科教育・数学教育・理科教育・英語教育・技術教育・家庭科教育・音楽教育・美術教育・保健体育教育の各コース」のいずれかに分属されます。

(注2) 集合時刻については、受験票の記載をご確認ください。

試験場の下見は、11月13日(金)13時からできますが、建物内に入ることはできません。

(3) 実技の内容等

教育学部学校教育教員養成課程

コース	試験内容
保健体育教育 コース	基礎的運動能力試験 器械運動、陸上運動、ボール運動の中から、基本的な運動課題を提示、基礎的な運動能力をみます。 (注意事項) 1. 試験内容・方法は当日発表します。 2. 屋内用と屋外用の運動靴を持参してください。 3. 当日は8:30~8:50に受付を済ませ、更衣室で基礎的運動能力試験のできる服装に着替えた後、9:00に集合してください。(集合場所については当日に掲示によりご確認ください。) 4. スパイクの使用はできません。

6 受験上の注意事項

(1) 試験場への集合等

- ① 受験者は掲示により集合場所を必ず確認し、各学部の指定の時刻までに入室してください。
- ② 追試験は実施しませんので、天候等により交通機関に影響が予想される場合は早めに移動してください。

(2) 携行品

- ① **本学受験票、黒鉛筆**(シャープペンシル可)を持参してください。このほか、消しゴム、鉛筆削り、時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判断しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものは不可。)は、机の上に置くことができます。
- ② 上記以外の携行品は、指定の場所に置いてください。
- ③ 携帯電話等の音の出る電子機器類は、試験室に入る前に電源を切ってかばん等に入れ、身につけないでください。
- ④ 数学物理学科の受験者は、プレゼンテーションの内容を記載した模造紙を持参してください。また、指示棒の使用を認めますので、使用される場合には併せて持参してください。

(3) 受験票

- ① 試験場の建物に入るときは、受験票を提示できるように、あらかじめ準備してください。
- ② 受験票は、着席後、座席票の手前に置いてください。
- ③ 試験当日に受験票を忘れた者は、受験票再交付場所(当日の掲示に注意)で所定の手続きを行い、受験してください。

(4) 遅刻者

試験開始後 30 分を超えたときは、受験することができません。

また、面接、グループ活動、実技は定められた集合時刻に遅れると受験することができません。

(5) その他

- ① 各学部でそれぞれ課している科目等を全て受験しないと合格者となりません。
- ② 試験が終了するまでは退室できません。
- ③ 試験中、発病等で一時休養を希望するとき、又はトイレ等で席を立ちたいときは、手を挙げて、監督者

の指示に従ってください。なお、これらの場合でも試験時間の延長は行いません。

- ④ 許可された物品以外のものを机に出している場合、若しくは身につけることのできないものを身につけている場合は不正行為として扱う場合があります。
- ⑤ 監督者等の指示に従わないとき又は不正行為をしたとき、若しくはしようとしたときは、失格とします。不正行為を行った場合は警察に被害届を出す場合があります。
- ⑥ 朝倉キャンパスでは、試験期間中、自動車の構内乗り入れ及び駐車は禁止します。周辺に駐車場はありませんので、来学の際は公共交通機関をご利用願います。(人文社会科学部・教育学部・理工学部・地域協働学部のみ)
岡豊キャンパス(医学部)については自動車の乗り入れは可能ですが、駐車料金が発生します。
物部キャンパス(農林海洋科学部)は自動車の乗り入れは可能ですが、係員の指示に従ってください。

7 合格者発表と選抜結果の通知

- (1) 合格者の発表は、2026年12月1日(火)10時(予定)に、本学ホームページ「受験生サイト」に受験番号を掲載するとともに、合格者には合格通知書と入学手続関係書類を発表と同時に特定封筒郵便(レターパックライト)で送付します。
なお、推薦のあった出身学校長へは、選抜結果について通知します。
- (2) ホームページで合格者発表を行います。情報提供サービスの一環として行うものです。必ず合格通知書をもって確認してください。
高知大学受験生サイト : <https://nyusi.kochi-u.ac.jp/>
- (3) 電話等による問合せには一切応じません。

8 入学手続

入学手続は、次のとおりですが、詳細については合格者に別途通知します。

(1) 入学手続期間

2026年12月2日(水)から12月9日(水)17時まで(必着)

※郵送のみ(持参では受け付けません。)

(注) 郵便事情を十分考慮のうえ、期間内に到着するように特定記録・速達郵便で発送してください。(入学手続期間後に到着した場合は受理できません。)

(2) 入学手続書類の送付先

高知大学学務部入試課(〒780-8520 高知市曙町二丁目5番1号)

(3) 入学手続書類

入学手続書類は、合格通知書とともに送付しますが、それ以外に用意するものは、次のとおりです。

- ① 卒業(修了)証明書……1通【卒業(修了)後速やかに提出、2027年3月15日(月)必着】
- ② 写真……………2枚(4cm×3cm・私服で撮影したカラー写真)

(4) 入学手続時等に要する経費

- ① 入学料 282,000円
- ② フィールド実習費(地域協働学部のみ)

地域協働学部では、1年次から3年次までの実習費(3年間で90,000円)を納付して頂きます。

本実習費は、実習に必要な各種経費です。原則として入学手続き時に一括して納付して頂きます。
なお、本実習費が余った場合は、実習に行く際の車両購入のために積み立てます。

○ 注意事項

- 1) 入学金及びフィールド実習費(地域協働学部のみ)は、入学手続き時に納付してください。
- 2) 授業料は、第1学期分は5月中、第2学期分は11月中に本学指定の金融機関からの口座引き落としとなります。(第1学期分 267,900円(年額 535,800円))
- 3) 入学金の減免(留学生を除く)又は徴収猶予を希望する者は、合格者に送付する入学者の手引に従って手続を行ってください。

授業料についても減免制度及び徴収猶予制度があります。

当該制度の申請者は、本学が指示するまでは入学金・授業料を納付しないでください。

日本学生支援機構給付奨学金に申請予定の者又は採用者で入学金納付後に入学金及び授業料減免の手続を行う者は、本学が指示する手続期間内に申請を行ってください。

(問合せ先：高知大学学務部学生支援課経済支援係(TEL 088-844-8146))

- 4) 納入した入学金は、返還しません。ただし、次に該当する場合は当該入学金相当額もしくは免除相当額を返還します。
 - ・入学金を納付した者が、入学手続を完了しなかった場合
 - ・入学金を納付した者が、納付後申請した減免制度により全額もしくは一部免除となった場合
- 5) 入学金減免及び徴収猶予の申請者が、本学の入学手続を完了した後に入学を辞退する場合は、ただちに入学金を納付しなければなりません。
- 6) 入学金及び授業料について改定が行われた場合には、改定時から新入学金及び新授業料が適用されます。

(5) 注意事項

① 合格者は、本学及び他の国公立大学を受験しても合格者とはなりません。

ただし、特別の事情により、2027年2月17日(水)までに学校長から入学辞退願が提出され、許可された者は除きます。

② 手続期間内に入学手続を完了しない者は、辞退者として取り扱い、入学を許可しません。

なお、この場合の辞退者は、本学及び他の国公立大学を受験しても合格者とはなりません。

③ 提出書類の記載内容に虚偽の記載が判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。また、入学後に判明した場合は、入学を取り消すことがあります。

9 入学前指導(事前学習会)の予告

合格者を対象に、入学に備えた指導を行います。入学後の学修を円滑に始められるようになることを目的としています。

詳細については、合格通知書送付時又は入学手続後に各学部等より連絡します。

なお、入学前指導に関する連絡等に出願時に登録いただいた、メールアドレスを使用させていただく場合があります。御了承ください。

10 不合格者の国公立大学への出願

不合格となった者は、本学を含めた国公立大学が実施する一般選抜等に出願することができます。

一般選抜の出願期間は、2027年1月25日(月)から2月3日(水)です。(大学入学共通テストを受験してください。)

(注) 不合格となった者は、本学を含めた国公立大学が実施する学校推薦型選抜に出願することはできません。ただし、本学の大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜Ⅰに不合格となった者は、同一学部・学科・コース等を志望する場合に限り、本学の大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜Ⅱに出願することができます。なお、保健体育教育コースの学校推薦型選抜Ⅰにおいて不合格となった者は、教育科学コース・教科教育コース・特別支援教育コースの学校推薦型選抜Ⅱに出願することはできません。

11 入学試験に関する情報の開示

本学では、2027年度入学試験に関する情報を次のとおり開示します。

(1) 受験者の入学試験成績に関する事項

① 開示内容

[人文社会科学部、教育学部、理工学部、農林海洋科学部、地域協働学部]

・試験成績(一般選抜、学校推薦型選抜Ⅰ、学校推薦型選抜Ⅱ)

大学入学共通テスト成績の合計、個別試験等科目毎の成績、順位

[医学部]

・試験成績(一般選抜)

大学入学共通テスト成績の合計、個別試験等成績の合計

② 開示は、受験者本人に対して行います。(代理人には開示いたしません。)

③ 開示請求の受付期間は、2027年5月6日(木)から5月14日(金)までです。

(土曜日、日曜日を除く8時30分から17時まで)

④ 開示の請求方法

開示は、受験者本人が上記受付期間に本学所定の「個人成績開示願書」、「本学受験票」、「大学入学共通テスト受験票」(大学入学共通テスト出願者のみ)、返信用の封筒(長形3号封筒に簡易書留郵便料金460円分の切手を貼り、受験者本人の住所・氏名を明記したもの)を郵送もしくは持参してください。書類に不備がある場合、成績開示は行えません。

※本学所定の「個人成績開示願書」は、高知大学受験生サイト(<https://nyusi.kochi-u.ac.jp/nyushi/date>)より、ダウンロードしてください。

※「本学受験票」、「大学入学共通テスト受験票」はダウンロード期間が定められています。期間終了後は入手する方法がありませんので、必ず事前にご準備ください。

(2) 入学者選抜実施状況資料

次の情報を公開します。

① 志願者数、受験者数、合格者数、入学者数、追加合格者数、入学辞退者数

② 合格者成績情報(合格者が10人未満の場合は公表しません)

[人文社会科学部、教育学部、理工学部、農林海洋科学部、地域協働学部:一般選抜、学校推薦型選抜Ⅰ、学校推薦型選抜Ⅱ]

[医学部:一般選抜]

大学入学共通テスト成績の合計、個別試験等成績の合計及び総得点について、それぞれの最高・最低・平均点

※入学者選抜実施状況資料は、2027年4月中旬以降に高知大学受験生サイトに公表します。

(<https://nyusi.kochi-u.ac.jp/nyushi/date>)

12 個人情報の取扱い

「個人情報の保護に関する法律」に基づき、本学入学者選抜に用いた個人情報については、入学手続、入学者選抜・修学等に係る調査・研究等、入学前教育及び修学に係る用途にのみ使用し、他の目的に利用、又は提供することはありません。

ただし、国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、合格及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

また合格者に限り、入学後の修学に係る学生サービス及び卒業後のコミュニティ醸成のために、合格者本人の同意を得たうえで、出願時に入力された住所情報を各学部同窓会・後援会に提供することをご了承願います。

試験場案内

試験場：高知大学朝倉キャンパス(高知市曙町二丁目5番1号)

[交通アクセス]

① JRで来られる方へ

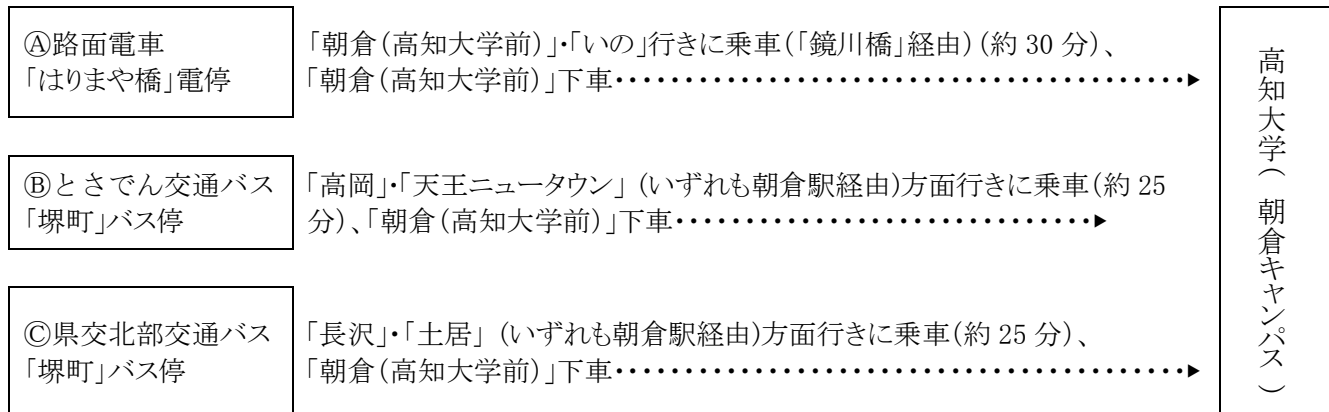
JR朝倉駅 徒歩(約5分).....▶ 高知大学(朝倉キャンパス)

JR 高知駅 路面電車(とさでん交通、以下、省略)「高知駅前」電停で乗車(約5分)、
「はりまや橋」電停で下車、以下の①・②・③へ乗り換え

② 航空機で来られる方へ

空港連絡バス 「高知龍馬空港」で乗車(約30分)、「はりまや橋」で下車、以下の①・②・③へ乗り換え

【乗り換え】高知市内中心部より



※発着時刻・料金は、時刻表などでご確認ください。

試験場：高知大学物部キャンパス(南国市物部乙200)

[交通アクセス]

① JRで来られる方へ

JR 高知駅 空港連絡バス(「高知駅前観光バス」または「とさでん交通」)に乗車(約30分)し、
「高知龍馬空港」で下車後、徒歩約15分.....▶ 高知大学物部キャンパス

JR 後免駅 タクシー(約20分).....▶ 高知大学物部キャンパス

② 航空機で来られる方へ

高知龍馬空港 徒歩約15分、又はタクシー.....▶ 高知大学物部キャンパス

※発着時刻・料金は、時刻表などでご確認ください。

なんこくしおこうちょうこはす

高知大学医学部（岡豊キャンパス）交通案内（南国市岡豊町小蓮）

[交通アクセス]

① JRで来られる方へ

JR 高知駅

とさでん交通バス(領石、南国オフィスパーク、医大病院 行きに乗車)

医大病院下車【時間約25分】

タクシー【時間約20分】

JR 後免駅

タクシー【時間約10分】

② 高知市内よりバスで来られる方へ

北はりまや橋

とさでん交通バス(領石、南国オフィスパーク、医大病院 行きに乗車)

医大病院下車【時間約30分】

タクシー【時間約25分】

③ 航空機で来られる方へ

高知龍馬
空 港

空港連絡バス【時間約40分】 JR高知駅 (あと①に同じ)

空港連絡バス【時間約35分】 北はりまや橋 (あと②に同じ)

タクシー【時間約30分】

高知大学医学部（岡豊キャンパス）

※発着時刻・料金は、時刻表などをご確認ください。

各キャンパス案内図



(拡大図)

入 試 情 報

入試情報 高知大学受験生サイト(<https://nyusi.kochi-u.ac.jp/>)にアクセスしてください。

学部・学科等の案内は下記でもご覧いただけます。

・「マナビジョン」 (<https://manabi.benesse.ne.jp/>)

◎ 入学試験に関する問合せ先

入学試験に関することについては、月曜日～金曜日（祝日等を除く）の8時30分～17時までの間に次のところに問合せてください。

高知大学学務部入試課	TEL	088-844-8153
	FAX	088-844-8147
医学部担当	TEL	088-880-2295
	FAX	088-880-2296

高知大学学務部入試課
〒780-8520 高知市曙町二丁目5番1号